



学校目標

一人ひとりの子どもの個性を磨き、しなやかにたくましく生きる子どもの育成

学校だより No. 6

のびのび七浦っ子

令和5年7月11日

鹿島市立七浦小学校

校長 西川 信一郎

4年ぶり 大興奮の「七リンピック」

6月11日、4年ぶりに七浦小学校独自の学校行事「七リンピック」を開催することができました。スローガン「一人一人がむつごろうにまけないくらいがたまみれになってさいごまで楽しもう」のもと、子どもたち全員が真っ黒になって楽しみました。



難しい、がたスキー



むつごろうに負けないぞ



優勝、しりずもう



がたで つな引き



6年 ソーランを披露

久しぶりの干潟での活動でしたので、がたの歩き方やがたスキーの進み方などを子どもたちも忘れていたようです。初めのうちは、恐る恐る動いていましたが、慣れると思いきり動き回っていました。閉会時には子どもたち全員が充実した顔をしていました。今回の七リンピックは久しぶりの開催で学校職員のほとんどが初体験で、PTAの皆様の協力がなければ実現しませんでした。誠にありがとうございました。

保健集会「虫歯予防 ポイントラリー大会」

6月22日に保健委員会の集会活動がありました。8つの場所を縦割り班のグループで回って、楽しみながら虫歯予防の大切さを学んでいく活動でした。言葉をつくったりクイズを解いたりしました。また、歯ブラシの正しい使い方やしっかりかむことの大切さを学びました。



何という言葉になるの？



赤ちゃんの歯は下から？



歯ブラシの毛先は大事



よくかみましょう

体験をしながらポイントを獲得するポイントラリーで、最後は最も得点が高かったグループが表彰されました。

保健委員会の皆さんはこの集会をするために、何週間もかけて準備をしてきました。ありがとうございました。おかげで七浦小の子どもたち全員が楽しく学ぶことができました。歯を守るだけでなく健康に生活するために必要な学習でした。



SDGs 教育に取り組んでいます

七浦小学校では、SDGs（17この持続可能な開発目標）を学習しています。

「SDGs（持続可能な開発目標）」とは、これまで行ってきた体験活動、課題解決学習に加えて、身の回りや社会・世界で起きていることを「自分事として捉え、『今、自分にできることはなんだろうか。将来自分ならこんな社会を創りたい』と当事者意識をもって考えます。いわゆる主権者教育につながる教育です。子どもたちがふるさと七浦と日本・世界の未来の作り手として育ててほしいと思っています。



目の前に広がる有明海を知り、その恵みに感謝する体験として干潟体験、セリニック、有明海産海苔をつかった「ふりかけづくり」、漁協による「漁業体験」など様々な学習をしています。音成分校は五町田小学校谷所分校との交流会で、海から離れた学校の友達に海の素晴らしさを知らせるために有明海で遊びました。



ふりかけづくり



漁業体験



この味は有明産だ！

5年生の「ふりかけづくり」では、色落ちした海苔を無駄にせず少しでも有効に活用するための工夫と漁業者の努力を学びました。

5・6年生の漁業体験では、車輪が付いたがたスキーで「むっかけ」体験や有明海苔と他県の海苔との味比べをしました。不思議なことに子どもたちには有明海苔の味がわかるようです。



分校の子どもたちは田植え（農業体験）をしました。保護者様の田の一部を使わせていただいています。秋の収穫が今から楽しみです。3年生は七浦の特産物みかんの学習をしています。子どもたちはみかんづくりについて、自分で調べたり生産者の話を聞いたりして、ふるさと七浦について理解を深めています。



一株ずついねいに



みかん農家の松本さん



7月6日に「平和集会」がありました。6年生の平和学習（修学旅行）の報告会と放送委員会の朗読、各学級からの「平和宣言」を行いました。

6年生の発表では、まず原子爆弾の恐ろしさについて劇やスライドを使って説明してくれました。6年生の真剣な態度にしている子どもたちは圧倒されていました。発表の終わりに平和学習の感想を述べました。「自分の命だけでなく他人の命も大切にしたい」「国と国とが分かり合う努力が必要」「国や人種で差別しない」「学級でケンカがあったら止めたい」などいろいろな意見が出されました。



平和学習の発表

放送委員会の朗読は、戦争で死んだ級友のお話「えんぴつびな」でした。戦争が起きると何の罪もない大切な人でさえ失うことがあるということを伝えてくれました。

各学級からは「みんなにやさしく」「話し合いで解決する」「笑顔で仲良く」「相手の気持ちを考え仲良く」などの平和宣言が発表されました。



全校群読「いのち」